

JARL QRP CLUB 60周年キット 21MHz DSB/CW トランシーバ JA Pepper 60 の製作 JN3DMJ 松本 貢一

これは、私が所属する JARL QRP CLUB の 60周年キットとして、2016年に、JE1ECF 斎藤OM はじめ開発関係各位のご尽力により、会員限定60台で募集・配布されたものです。ケースなしキット、ケース付キット等があり、私はケース付キットを選びましたが、CW の運用が多い周波数に出るために、2組の水晶振動子を切り替えできるようにしたほか、各種工夫をしました（2016年8月完成）。

DSB	21.167~21.217 MHz
CW-HIGH	21.049~21.056 MHz
CW-LOW	21.000~21.044 MHz

周波数カウンタ出力用アンプ増設

- 周波数カウンタからのノイズ低減用。

ファイナルの後のフィルタ

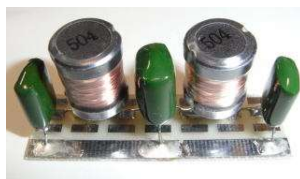
- T型フィルタ用のコイルをトロイダルコイルに変更。
- 上記の後に、 π 型ローパスフィルタを1段追加。

サイドトーン

- 周波数微調整可能。

CWオーディオフィルタ

- π 型2段のローパスフィルタを、AFポリウム直前に入れました。



VXO（可変水晶発振）

- CW の運用が多い周波数に出るために、2組の水晶発振子（CWはさらに大小のコイル）を切り替えられるようにしました。
- 本機でCWをするには、送受信の局発周波数差をRITで確保する必要があり、RIT用バリキャップと直列のC2を3pF → 7pFに変更し可変範囲を増やしました。
- CW-HIGHは上記だけでは周波数差が不足したので、RIT-ON時のみリレーでコイルを追加し、発振周波数を下げました。



Oceania	Asia	North America
East Malaysia Hawaii Guam Indonesia Australia Mariana Is. Palau(DSB) Philippines	Thailand Asiatic Russia China Hong Kong Taiwan	United States of America
DX交信実績 (CW,1W) 2016-17		

(2018/7/14)